

令和7年度（令和6年度分）教育委員会が行う点検・評価の結果に関する報告書（概要）

1 点検・評価の目的

- 教育委員会が行う点検・評価（以下、「点検・評価」という。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「法律」という。）」に基づき、教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、区民への説明責任を果たすとともに、効果的な教育行政の推進に資することを目的としている。

2 点検・評価実施方法

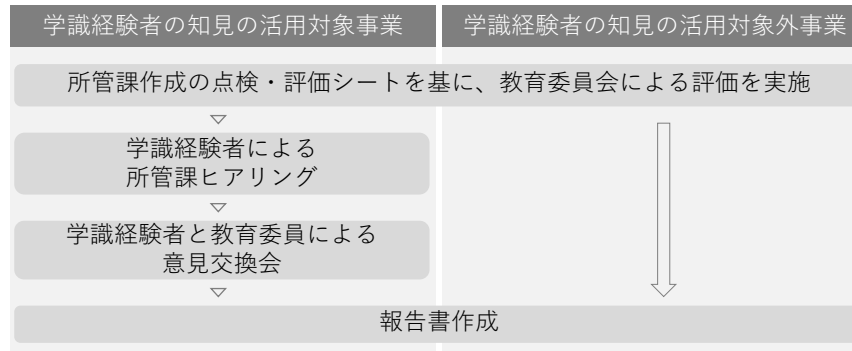
(1) 点検・評価の対象事業

- 対象事業は、いたばし学び支援プラン2025の全ての事業とし、令和5年度から令和8年度の中で、全事業について実施する。

(2) 学識経験者の知見の活用

- 法律に基づき、点検・評価の実施に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされている。
- 板橋区では、教育委員会による評価の実施後に学識経験者の意見を聴取する機会を設け、対象事業の改善・向上にいかすことにしている。

(3) 点検・評価実施の流れ



(4) 評価評語及び方向性

- 「評価評語」は、各事業の目標に対する到達度や進捗状況を示している。また、各事業の事業手法や目標値・指標等について検討したうえで、今後の進め方を「方向性」として示している。

① 評価標語

順 調：目標に向け順調に進捗しており、
 目標達成が見込める
 概ね順調：目標に向け進捗しており、目標
 達成が期待できる
 停 滞：目標に対して進展していない
 達 成：既に目標を達成している

② 方向性

- ・工夫して継続
- ・事業の転換
- ・事業手法の見直し
- ・目標値・指標の見直し
- ・事業の廃止

3 令和7年度の点検・評価

(1) 対象事業（11事業）

① 学識経験者の知見の活用対象事業（6事業）

- ・中高生勉強会「学びi（あい）プレイス」の推進
- ・学校における働き方改革の推進
- ・中高生・若者支援の拡充と活性化
- ・生涯を通じた読書活動の支援
- ・板橋区史跡公園（仮称）の整備
- ・旧粕谷家住宅の公開

② 学識経験者の知見の活用対象外事業（5事業）

- ・安全教育の推進
- ・青少年健全育成事業の推進
- ・家庭教育支援チームの拡充
- ・広報活動の充実
- ・主体的に働きかける教育委員会の充実

(2) 学識経験者

林 幸克氏（明治大学文学部教授）
 妹尾 昌俊氏（教育テック大学院大学教授）

令和7年度（令和6年度分）教育委員会が行う点検・評価の結果に関する報告書（概要）

4 令和7年度の点検・評価の結果

(1) 学識経験者の知見の活用対象事業

① 教育委員会評価一覧

No	事業	評価標語	方向性
1	中高生勉強会「学びiプレイス」の推進	順調	工夫して継続
2	学校における働き方改革の推進	概ね順調	工夫して継続
3	中高生・若者支援の拡充と活性化	順調	工夫して継続
4	生涯を通じた読書活動の支援	順調	工夫して継続
5	板橋区史跡公園（仮称）の整備	順調	工夫して継続
6	旧粕谷家住宅の公開	概ね順調	工夫して継続

② 学識経験者の主な提言

学識経験者からの所管課ヒアリングにおいて、対象事業について、以下の意見・助言をいただいた。

- 中高生勉強会「学びiプレイス」の推進について、区で積極的に居場所づくりを行っていることは評価できる。一方で、現在のアンケートの内容では、この事業の効果を測りきることができず、今後の事業展開の方向性が見えてきづらい。
- 学校における働き方改革の推進について、時間外在校等時間数の全体の時間数が減っていたとしても、時間が増えた業務について、何が増えているのか、何がその要因となっているのか内実を知り、十分に検討する必要がある。
- 中高生・若者支援の拡充と活性化について、本事業の趣旨からすると、いろいろな活動を通じて、なるべく多くの若者等に来てもらう必要がある。初めて来る利用者が入りづらいと感じないように、できるだけ敷居を下げるなどの工夫が必要である。
- 生涯を通じた読書活動の支援について、絵本作家などを呼んだワークショップやイベントなどを開催できると、図書館の利用につながり、生涯を通じた読書活動の支援に寄与するのではないかな。
- 板橋区史跡公園（仮称）の整備について、火薬製造所跡という、メジャーな史跡というわけではないため、多大なコストをかけて整備することに理解を得られない可能性がある。コストをかける部分、かけない部分の選定を慎重に行う必要がある。

- 旧粕谷家住宅の公開について、室礼教室の参加人数が少ないため、企画をするにあたって区民のニーズなどがきちんと把握できているか疑問である。来館者数については、ウォーキング大会との連携を実施し、一定の効果をを得ているので、引き続き様々な方法を探してほしい。

③ 学識経験者と教育委員の意見交換会

対象事業を「居場所づくり及び学びの循環」、「学校における働き方改革の推進」及び「板橋区の歴史・産業・文化の発信による新たな魅力・価値の創出」の3つのテーマに分けて議論した。以下のような議論があり、今後の施策・事業の取組に関連した知見を教育委員会全体で深めた。

- 居場所づくり及び学びの循環について、アンケートを取ってはいるが、居場所づくりという事業の性質上、アンケートを取るだけでは不十分であり、例えば、職員等が利用者に対してインタビューを行うなどすると、本音の部分がでてくるのではないかな。
- 学校における働き方改革の推進について、AI等の活用など学校の事務作業を減らすような支援を行うことや、仕事の時間のコストを意識できるような手法を取り入れていく必要がある。
- 板橋区史跡公園（仮称）の整備について、文化的価値があることから、どうしても提供者目線で整備を進めてしまいがちだが、訪れる方の目線でどのようなニーズがあるかを意識することが重要である。

(2) 学識経験者の知見の活用対象外事業

教育委員会評価一覧

No	事業	評価標語	方向性
1	安全教育の推進	順調	工夫して継続
2	青少年健全育成事業の推進	概ね順調	工夫して継続
3	家庭教育支援チームの拡充	概ね順調	工夫して継続
4	広報活動の充実	順調	工夫して継続
5	主体的に働きかける教育委員会の充実	概ね順調	工夫して継続

5 公表

ホームページで公表。広報紙「教育の板橋」や板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム等で情報発信。